

高雄日本人学校の風

校長 高口和治

2月5日 (火)

P T A役員会があり、来年度の行事予定や日課表などについて話をしました。執行役員会では1月に提案をして、その後、いくつか修正をしました。今回、日課表についても提案をして、いくつか要望があり、確かにその通りなこともありました。職員とも相談して、また、役員さんにこのようにしてみたと会長を通して連絡をすることにしました。

また、内容的に私が心配になることも話として出ました。『授業時数は、足りていることは説明で分かりました。ただ、進度が日本と同じだと、春休みが早く始まるので間に合わなくて、最後詰め込むようなことは避けてもらいたい。』と心配してくれたの発言でした。

(6日の朝) 私達職員も、時数と内容はいつも気にしていますので、学年便りの保護者に毎週の計画を示しているものと年間指導計画(何月の第何週に何をするという計画を毎年つくっています)に照らして遅れていると思われる担任に聞きました。年間指導計画を入れ替えてやっているために結果的には進度は遅れてはいませんでした。確認をしました。保護者や子どもに結果的にうまく伝わっていなかったということが実態としての反省でした。

また、学習の時間についての発言もありました。これも担任の意図はあるのですが、何をしているかが伝わっていないようです。子どもも明確にこれをやっているという自覚がないのでしょうか。(6日の打ち合わせで)「今、この内容が定着していないから、〇〇をしている。基礎的なことができているので、〇〇を発展的にしている。」というように、何をしているか明確に子どもにも保護者にも分かるように、ということを職員に話をしました。時間割では、中学部とセットになっていますので、見直して提案をいたします。

2月6日 (水)

春節あいさつまわりに高雄市警察局外事科に行ってきました。感謝を伝えてきました。台北日本人学校の事件についても、『どこにでも精神を病んでいる人がいるので気をつけて欲しい』とのこと。『それは、日本でも同じ事です。』と答えました、台北の事件から、また、パトカーが止まっている回数や時間が増えたことを伝えました。(外事科は、高雄市政府の警察でその下に三民区の警察があり、そこからパトカーが出ています)感謝です。

2月7日 (木)

学校医（歯科）の張先生が挨拶に来てくださいました。ご夫婦できて、様々話をしてくれました。病院で日本語の応対ができるように簡単なやりとりができる対話集を作っていました。

三民区の警察署長さんにも挨拶に行きました。台北校の事件について、すぐに話し始め、警備を尖閣問題以来しっかりやっています。とのこと。また、学校の前に止まっているトラックをどかすようにします。とおっしゃっていました。急に泰順路に曲がる車が久々に先日通ったので報告しました。また、来るようでしたら、注意を与えます。とのことでした。その車は警察でもマークをしていて、止めて職務質問をしてくださったことがあったそうです。注意がきいていたのか、しばらく通っていませんでした。その運転手は信号がないところを縫って走っていたと話していたとのこと。（泰順路を通る方は注意しておかなければならない車です。白のRVタイプです。）

2月8日 (金)

別紙で、『台日文化交流音楽会』のチラシをくばりました。日本人会のHPや高雄プレスにも案内が載るとのことです。また、交流協会も応援をするとのこと。私としては、黄さん、品川夫妻には、昨年の『東日本大地震1周年の感謝の会』での台湾の歌のご指導、また、芸術鑑賞会でもご協力いただいていることもあり、チラシを各家庭に配布しました。チケットは、すでにインターネットやセブンイレブン等で購入可能だという話をききました。この会の趣旨は、地震のお礼の意味もあると聞いています。ただし、幼児の入場は遠慮してくださいとのこと。

午前中に最後の春節の挨拶に高雄市の教育局長に会ってきました。学校移転の件と定期券購入に関してお願いもしてきました。

定期券購入に関して、身分証明書を出したら、地下鉄の係が「日本人学校は、認められている学校か？」という質問があって、やりとりをしていたら、日本人学校にも電話が来たそうです。高雄市から認可されると回答をしているのに、どうも信じてもらえず、教育局に電話をしたそうです。そうしたら、担当でない部局の方が「そんな学校は知らない」ということになったそうです。部局が違えば、ありそうな話なので、教育局長にお話をしたら、即答で「地下鉄の各駅に日本人学校（日僑学校）高雄市政府が認可している学校だと、公文書を送付する」との回答を得ました。

春節の挨拶でさらに深く感じました。日本人学校のあり方に理解を示して、さらに、大変協力的に考えてくださっていることを感じます。これも感謝です。

明日から春節休みです。しっかり、ご家族で楽しんでください。